

令和3年度春期 情報処理安全確保支援士試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,6,25

4月18日(日)に行われた令和3年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、情報処理安全確保支援士試験の合格発表コメントをお知らせします。

■情報処理安全確保支援士試験 (SC)

[令和3年度春期 情報処理安全確保支援士試験 統計情報]

応募者	16,273人
受験者	10,869人
合格者	2,306人
合格率	21.2%

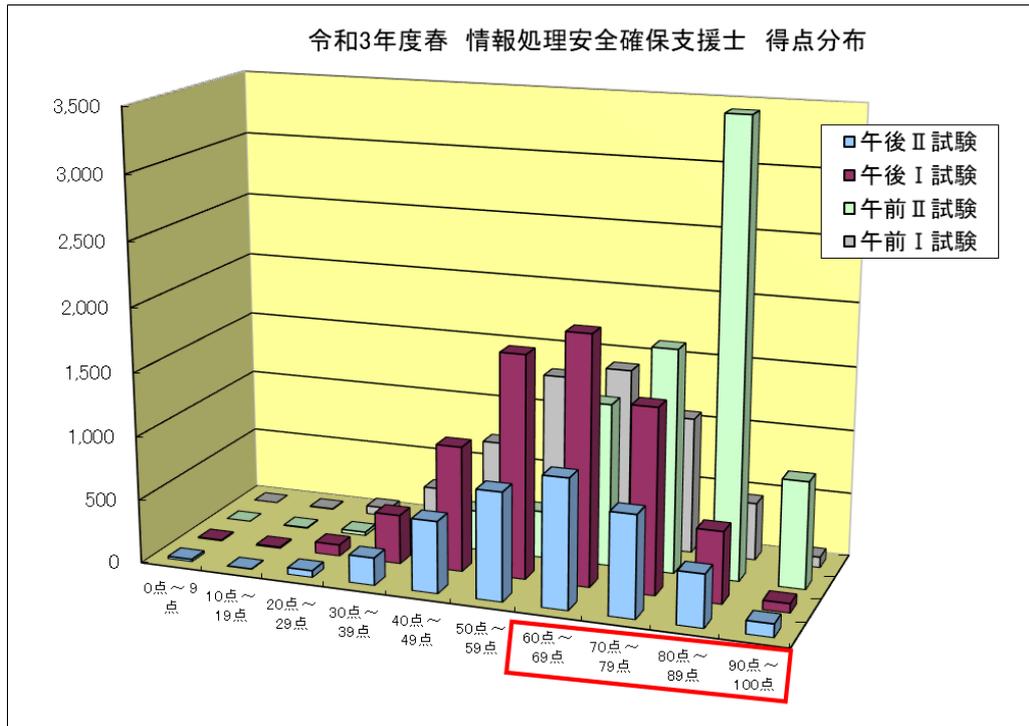
平成29年春期から始まった情報処理安全確保支援士試験は、内容的にこれまでの情報セキュリティスペシャリスト試験と変わらないものとして実施されています。今回の合格率は21.2%で、平成21年から始まった現在の試験制度で、最も高い結果でした。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度春期 情報処理安全確保支援士試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	8	19	
10点～19点	5	6	10	4	
20点～29点	66	28	89	53	
30点～39点	282	83	386	216	
40点～49点	717	312	980	560	
50点～59点	1,306	369	1,738	842	
60点～69点	1,406	1,272	1,938	1,004	
70点～79点	1,071	1,743	1,438	790	
80点～89点	452	3,529	558	409	
90点～100点	83	836	72	103	
計	5,388	8,178	7,217	4,000	2,306
対前試験比率		151.8%	88.2%	55.4%	57.7%
午前Ⅰ免除者(概数)	5,481	50.4%			

合格者数	2,306	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	3,012	55.9%	706
午前Ⅱ60点以上合計	7,380	90.2%	5,074
午後Ⅰ60点以上合計	4,006	55.5%	1,700
午後Ⅱ60点以上合計	2,306	57.7%	0



午前 I 試験免除対象の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 5,481 人 (50.4%) おり、受験者の半数の人が午前 II からの受験となっています。この午前 I 試験で基準点 60 点以上取ることができた人は 3,012 人 (受験者の 55.9%) でした。なお、50 点～59 点の人が 1,306 人 (24.2%) もいることから、出題範囲の広い午前 I 試験対策の学習を計画的に進める必要があるといえます。

午前 II 試験で基準点以上の方は 7,380 人 (受験者の 90.2%) で、前回の 85.2% より増えています。新規問題が例年より少なく過去問題も解答しやすかったことから、得点の伸びた人が多かったと思われる。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 55.5% で、前回の 55.1% とほぼ同じです。

午後 II で基準点 (60 点) 以上取れた人は 57.7% で、前回の 55.8% と大差ありません。

■令和 3 年度春期 情報処理安全確保支援士試験の出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5～6 割で、以外と試験は難しく、足元をすくわれないよう確実に対策を進める必要があります。

問題内容は、文章問題は 17 問 (前回 14 問から増)、用語問題は 5 問 (前回 7 問から減)、計算問題が 2 問 (前回 5 問から減)、考察問題が 6 問 (前回 4 問から増) でした。これらは毎回増減がありますが、今回は文章問題がいつもより多い傾向でした。

- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、今回は、ヒューマンインタフェース、サービスマネジメント、技術戦略マネジメント、企業活動からの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいですが、今回は 8 割ありました。内容的には定番問題が

多く解答しやすかったといえ、全体として前回よりも少し易しかったと思われます。

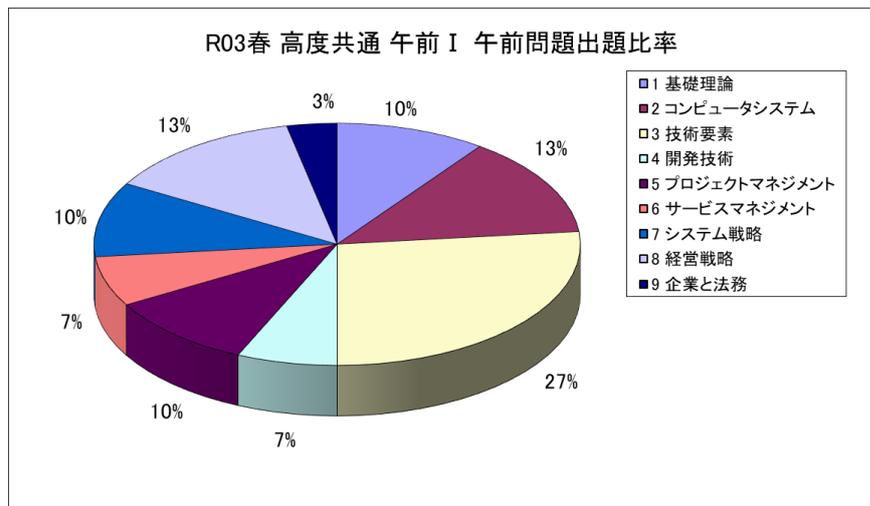
- ・新傾向問題は次の2問で前回の8問からかなり減っています。以前は平均4問程度あったので少なかったといえます。

(新傾向問題)

問6 ページアクセス時に発生する事象の回数

問28 アグリゲーションサービスに関する記述

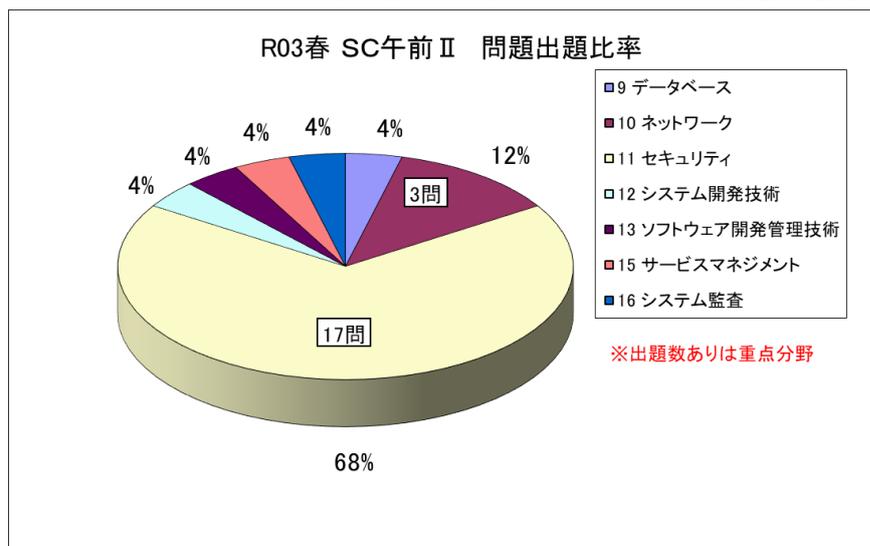
令和3年度春期 高度試験共通 午前I問題出題比率



(午前II試験(専門知識問題))

午前II試験は基本的な問題が多く、セキュリティとネットワークの専門知識の出題数はそれぞれ17問と3問の合計20問でした。新傾向問題は6問でした(前回も6問)。過去問題は従来と同じで約7割ありました。

令和3年度春期 情報処理安全確保支援士試験 午前II問題出題比率



過去の情報処理安全確保支援士試験問題の出題は12問ありました(前回13問)。この中で平成31年春期の問題が7問あり、最も多く出題されていました。

新傾向問題の6問は次の内容です。情報処理安全確保支援士試験の対策として、専門分野のセキュリティについては、常に新しい技術を理解しておく必要があります。

- 問 1 リフレクタ攻撃に悪用されることの多いサービス
- 問 10 DNS CAA レコードを使うセキュリティ上の効果
- 問 11 CASB を利用した際の効果
- 問 17 端末とアクセスポイント間の無線通信を暗号化するもの
- 問 18 NFV に関する記述
- 問 20 IP アドレス 127.0.0.1 に関する記述

〔午後Ⅰ試験〕

午後Ⅰ問題の出題テーマと設問概要は次のとおりです。問 1 は認証システムの開発，問 2 はネットワークのセキュリティ対策，問 3 はセキュリティ運用に関する問題でした。以前は定番の出題内容だった Web 関連の問題は前回に続きありませんでした。

問 1 認証システムの開発（ベンチャー企業） 普通

ファイル共有サービス，サービス改修，OAuth を用いた認可とシーケンス，認可の主体，サービス提供権限，セキュリティ上の問題，攻撃のシーケンス，利用者認証の実現

問 2 ネットワークのセキュリティ対策（中規模小売業） やや易～普通

ネットワーク構成，構成機器と概要，FW のフィルタリングルール，リスクと対策の検討，ホスティングサービス，DNS サーバの利用，正引きゾーンファイル，ゾーン転送先の設定

問 3 セキュリティ運用（製造業） やや難

システム構成，機器とソフトウェアの概要，Wake on LAN，セキュリティパッチの配信手順，他社事例，事例の要約，必要な対策，WoL を悪用するマルウェアの脅威

〔午後Ⅱ試験〕

午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問 1 はパスワードリスト攻撃，問 2 はクラウドセキュリティ関連で，問 2 の方がやや難でした。また，前回，小問数が少なめでしたが，今回は少し多めに設定されていました。

問 1 インシデント対応体制の整備（ドラッグストアチェーン） やや易～普通（12 ページ）

組織図，システムとネットワークの概要，開発システムの概要，脆弱性管理プロセス，インシデント発生，被害状況，対応の概要，対応方法検討，指摘事項と対策，対応ポリシー，対応ライフサイクル，インシデント調査結果，FW の通信料，脆弱性概要と対応見送り経緯，対応チーム調査結果，プロセス改善

問 2 クラウドセキュリティ（投資コンサルティング会社） 普通～やや難（10 ページ）

次期 IT 方針，PC 障害発生，専門家の助言，チャットサービスのトラブル，アカウント乗っ取り，実施できる調査，次期 IT セキュリティ要件，IEEE802.1X のシーケンス，認証サービスの概要，アクセス制御，プロキシ型サービス，サービス間の動作概要，SaaS 事業者のホワイトペーパー，次期 IT 移行

